

# 大沼環境調査講演会（1年 SS 研究基礎）

2022年5月25日（水）にSS研究基礎の授業として1年生を対象に大沼環境調査講演会を行いました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの開催となりました。

前北海道教育大学函館校教授である田中邦明氏をお迎えし、畜産と渡島大沼の関係性や、環境保全に関する様々な取り組みについてご講演をいただきました。

大沼の位置する七飯町における畜産業に関連するデータを基にして、大沼を取り巻く産業が大沼にどのような影響を与え、大沼の富栄養化がどのような段階を踏んで起こるのかということについて学びました。

その上で、どのようなアプローチで大沼の水質改善を図ったかを実際の問題分析方法・実態調査・提言・実践の流れに即してご説明をいただき、環境の変化を写真等から理解することができました。



これらのことを踏まえ、大沼の水質改善のために、「低予算でどのような水生植物が使えるか？」という視点から、これまでの試行錯誤の流れについて、わかりやすくご説明いただきました。

さらには、高校生がどのような大沼の環境改善のための取り組みをしてきたか、他機関との連携をどのように行ってきたかについても合わせて知ることができました。

質疑応答では、各クラスから様々な質問がされ、丁寧な回答をいただきました。

生徒たちが今回の講演会に非常に高い関心を持っていたことがうかがえました。

大沼がどのように研究されてきたかということを中心に学び多き会となりました。

今回の講演会で学んだことを踏まえて、6月には大沼の現地調査を行い、実際のデータを収集します。

